

# 「ミニ評論文」を作ろう

## タイトル「目的と目標の違い」

目的と目標という言葉はよく日常で使われる言葉だ。しかし、意味をしっかりと理解して使い分けている人は少ないと思う。目的は、最終的に成し遂げようとする事柄のこと。目標は、目的を成し遂げようとするために設けた具体的な手段のことを指す。つまり、最終到達点である目的を達成するための手段が目標ということだ。この2つの言葉の違いをしっかりと理解することで、自分の、将来なりたい姿に近づくことができると思う。

以前、テレビでこんな体験談が紹介されていた。その人は、東大に入ることを見事最終到達点にしてしまったため、東大に入っても遊び呆ける毎日を送っていた。そのため、就活を始めるのも遅くなってしまい、希望の会社に就職することができなかった。結局、その人は実家に引きこもる毎日を送ることになってしまった、というものだ。これは、目的と目標の意味を理解してなかったからこそ、起こったことだ。この人も学生生活中に自分の夢を叶えるべく、目標を地道に達成していったら、悲劇は起こっていなかったかもしれない。このようなことにならないためにも、自分の将来の夢を叶えるためにも、目的と目標をしっかりと使い分けていくことが大切だ。

### 振り返り

色々な題材の人がいて、新しい発見もできたし、納得もできた。また、評論文には型があるので、テーマさえ決めれば意外とかけるんだなと思った。

手元の角川類義語辞典によると、「目的」が抽象的で質的なもの、「目標」は具体的で量的なもの。Hさんの東大の例は、「目標」である東大合格が「目的」化してしまったゆえの悲劇。悲劇から、2つの言葉の違いを明確にした文章。(宮)

## タイトル「『信用』の先の『信頼』」

「信用」と「信頼」は、一見すると同じ意味に見えるがちゃんと違いがある。「信用」はそれまでの行い、成果などから、信じれると判断すること。「信頼」とはその人を信じて頼ること、などの意味がある。つまり、信用の先に信頼があるのだ。この信頼こそ、僕らにとって大事ではないかと考える。

例えば仕事関係。「信用」されている社員と「信頼」されている社員。前者は信じられてはいるけど、頼られない。後者は信じられ、なおかつ、頼られる存在である。信頼されていなければ大きな役を任せられることはないが、信頼されていれば、大役を任せられやすくなり、人からも尊敬されるだろう。だから信頼が大切なのだ。

もし人から信頼されたい、何か大きな役を任せられたいと思ったら、まずその人の信用を得ることだ。それは自分で上げた成果だけではなく、普段の行いからも得る。そしてその信用から信頼につなげることも大切だ。

### 振り返り：「信」のゲシュタルト崩壊が起こった。

一見似ている言葉でも、こうも意味が違うとは思わなかった。自分も人から信頼されるようになりたい。

日本国語大辞典によると「信頼」は、「信用し任せること」とある。S君の書いてあるとおり。しかも、確かに人いいし「信用できる」けど「任せられるかは別」という人はいる。顔きつつ、自分を振り返る、心がちくちくとする文章。(宮)